



みどりの風



令和6年4月22日発行

令和6年度 本校の目指すところ

校長 安藤晋哉

創立78周年を迎える本校。新1年生273人と転入職員18人を迎え、令和6年度が始まりました。これまで築き上げられた素晴らしい伝統や歴史を踏まえつつ、これからの未来を生き抜き、自己実現と社会に貢献することができる子どもたちの育成をめざし、生徒・教職員をはじめ、保護者・地域の方々のご理解とご協力により、本校の学校教育目標の達成に向けて取り組んでいきます。

本校の誇れる点と重点課題、めざす生徒像・教職員像は以下のとおりです。

【誇れる点】

- ・ 素直で真面目な生徒
- ・ 生徒の成長を願う教職員集団
- ・ 熱心な生徒会活動（頼もしい生徒会役員）
- ・ 文武両道の姿勢（全国大会等、数多く出場入賞）

【重点課題】

- (1) 長期欠席者増加傾向 ← 環境への対応
- (2) 学力向上 ← 諸検査結果が下降傾向
- (3) 自己調整力の育成 ← 目標・計画・実践・振り返りの習慣化（家庭学習、メディア利用等）

学校教育目標

自他を尊重し、夢と志をもち、未来を切り拓く生徒の育成

めざす生徒像

- 夢や目標の実現に向かって努力する生徒
- 自他を大切にし、思いやりの心で接する生徒
- 主体的に学び、心と体を粘り強く鍛える生徒

めざす教職員像

- 生徒の努力を支援する教職員
- 情熱をもち、生徒のよさや意欲を引き出す教職員
- 常に学び、社会の変化に対応できる教職員

育てる力

- 人を大切にする力
一人一人の存在や思いが大切にされる
- 自分を表現する力
自分の言葉で伝え、相手の表現を見聞する

- 自分の考えをもつ力
主体性(自己思考・積極的行動・自己決定力)を育む
- チャレンジ(挑戦)する力
失敗を恐れず、困難を乗り越える

※ 生徒たちには「自ら考え、判断し、行動する」ように促します。自己決定させ、挑戦させることで自信をつけさせます。万一、失敗しても、失敗から学び、やり直させることで成長に導きます。また、一人一人の可能性を信じ、まだ気づいていない資質・能力を伸ばすように学校・家庭・地域全体で取り組んでいきます。

本年度、様々な教育活動を実践しますが、これらのことをしっかり意識し、課題解決に努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

そこで、保護者や地域の方々にお願ひがあります。

生徒たちがこれからの変化の激しい予測困難な社会をたくましく生き抜いていくために、中学校生活では適度な不自由さの中で、自己調整をしながら困難を乗り越える力や規範意識を養い、自ら学び、考え、実行する力を身につけさせたいと考えます。その際、学校、家庭、地域の大人たちは生徒たちの成長した姿（ある意味でのゴール）を共有し、それぞれの立場で役割と責任を果たし、協働することがとても重要であると考えます。ぜひ、重富中学校の生徒の姿を注目し、激励や適切なアドバイスなどの声かけをお願いします。